

(様式第 11 号) (第 14 条関係)

## 令和 4 年度 「みんなの力でつくるまち」活動支援事業評価報告書

事業名	子どもも大人も一緒に考える「食品ロス」
団体名 (連絡先)	ナカマノコエ
総事業費	122,274 円 (うち補助金: 61,000 円)

### 事業内容

映画『0円キッチン』自主上映&ディスカッションイベント開催による課題啓発。イベントには大人 23 名 子ども 10 名の参加があった。また、イベントの開催報告をミニ新聞にまとめ「ナカマノコエのまなむーぶ通信 食品ロスを生まない軽井沢」として発行。町内の小中高校、保育園で配布の他、町内のお店等に置かせていただいている。

### 事業効果

本事業はイベント運営メンバーを募集するところからスタートし、テーマである「食品ロス削減の啓発」にふさわしい映画の選定にも時間をかけるなど、「子どもも大人も一緒に考える」という学びの場の設定・準備には多くの時間をかけた。ISAK JAPAN の生徒さんが運営メンバーに入ったことで、高校生目線での意見を取り入れることができ非常に良かった。イベント当日は町内の一般廃棄物処理業者さんの(有)軽井沢衛生企業その他、フードバンク軽井沢、生活クラブ軽井沢支部、近隣の有機農家さん、町議会議員さんなどからもご協力いただき、イベントを機に同じ問題意識を持つ人とのつながりが生まれたことが大きな収穫。参加者からは「親子でこの映画を観られてよかった」との感想を複数いただいている。さらにイベント開催報告のミニ新聞を作成配布したことで、事業の内容をイベント参加者以外の人たちにも伝えることができた。



### 【目標・ねらい】

- 食品ロスの現状について知る機会を提供する
- 食品ロスに対し各家庭やお店、地域でどのように取り組めばよいか考え、実際行動に移していけるよう提案する

自己評価 (目標達成率) 【 B 】

### 今後の取り組み

上記報告にあるように本事業開催をきっかけにし、これまでつながることのなかった人たちと、この地域の食品ロス問題について意見を交わし、学びを深めることができた。このつながりをより一層広げていくことで、食品ロス削減に興味がある人とさらに出会いやすくなるのではないかと。そして実際に、軽井沢町の食品ロス全体量が減っていくのではないかと考えている。令和 5 年度は軽井沢町のみなまち補助金に加え、長野県元気作り支援金での採択も決まり、引き続き事業を継続する。SNS を利用した番組づくりを通し、軽井沢町の食品ロス削減について町民発信・消費者発信での啓発活動を行う。軽井沢町は観光地ならではの特色として、自治体として処理する町民ひとりあたりのゴミの量が非常に多いという実態がある。食品ロスに限らず、ごみ問題全般への興味関心へとひろがる可能性も感じている。

※自己評価欄は「A」90%以上「B」70~89%「C」50~69%「D」49%以下で示すこと。